

池島・福万寺遺跡発掘調査25周年記念

あらわ

弥生人現れる

—大地は実り 人は祈る—



平成19年2月10日[土] ▶ 3月25日[日]

考古学セミナー

第1回 2月24日[土]

「米づくりが始まった頃の池島・福万寺遺跡」

水野 正好(財)大阪府文化財センター 理事長

調査担当者(財)大阪府文化財センター池島支所

第2回 3月11日[日]

「ある日、縄文人は弥生人になったのか?」

金関 恕(大阪府立弥生文化博物館 館長)

豆谷和之(田原本町教育委員会文化財保存課 主査)

若林邦彦(同志社大学歴史資料館 専任講師)

●両日とも午後2時~4時(受付は午後1時から) ●場所/1階ホール ●定員170名(当日先着順)

◎ワークショップ「ミニ土偶をつくる」2/17(土)、3/3(土)、3/17(土)午後2時~3時(当日先着順20名)

大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

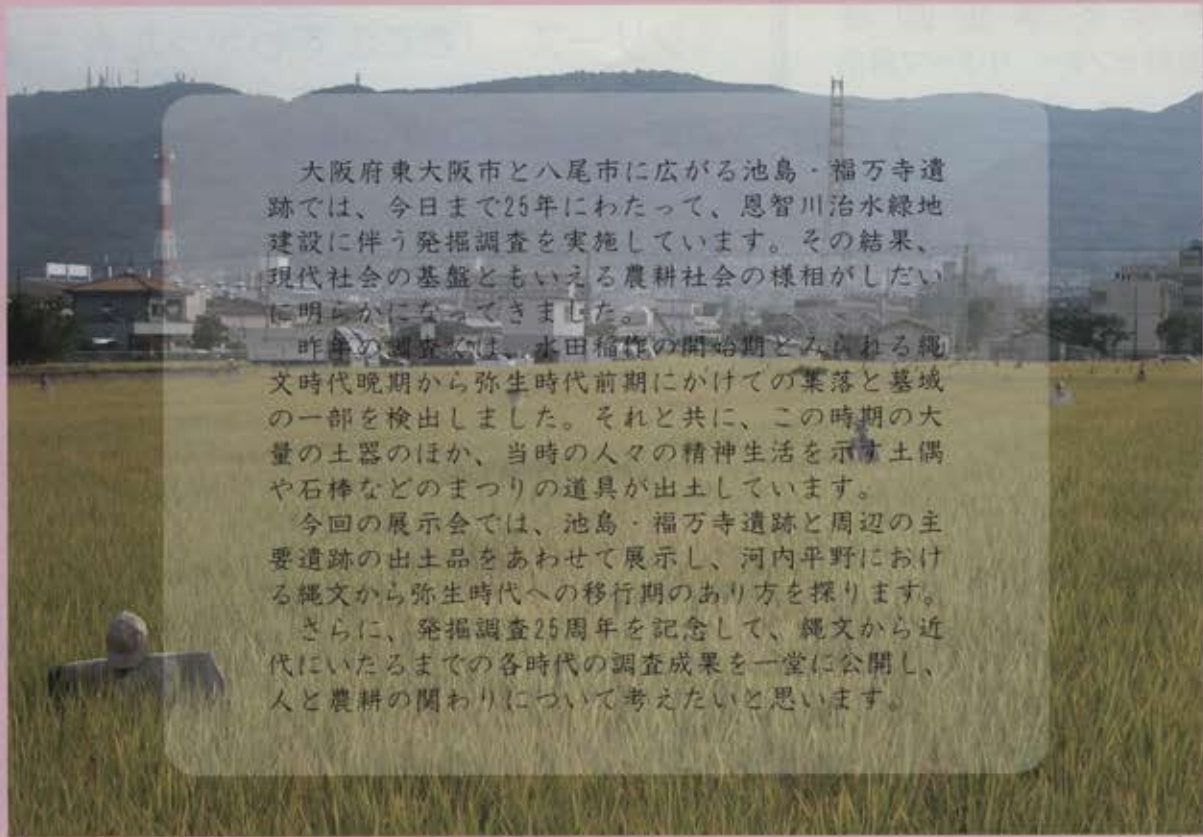
<http://www.hanku-city.or.jp/yayoi/>

- 主催 : 大阪府立弥生文化博物館 (財)大阪府文化財センター
- 開館時間 : 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 : 毎週月曜日
(ただし、2月12日(月・祝日)は開館し、13日(火)休館)
- 入館料 : 一般400円(320円)、65歳以上・高大生300円(240円)
小中生・障害者手帳をもつ方は無料(1日1人20名様以上の団体料金)
- 所在地 : 〒594-0083 大阪府和泉市池上町443
TEL 0725-46-2162 Fax 0725-46-2165
- 交通 : J R阪和線「池太山」駅下車、西へ600m
南海本線「松ノ浜」駅下車、南東へ1500m
国道26号線「池上町」交差点南西角
- 駐車場 : 普通車80台、大型バス7台(いずれも無料)

関西から



※本事業は平成18年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものです。



大阪府東大阪市と八尾市に広がる池島・福万寺遺跡では、今日まで25年にわたって、恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査を実施しています。その結果、現代社会の基盤ともいえる農耕社会の様相がしだいに明らかになってきました。

昨年の調査では、水田稲作の開始期とみられる縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての集落と墓域の一部を検出しました。それと共に、この時期の大量の土器のほか、当時の人々の精神生活を示す土偶や石棒などのまつりの道具が出土しています。

今回の展示会では、池島・福万寺遺跡と周辺の主要遺跡の出土品をあわせて展示し、河内平野における縄文から弥生時代への移行期のあり方を探ります。

さらに、発掘調査25周年を記念して、縄文から近代にいたるまでの各時代の調査成果を一堂に公開し、人と農耕の関わりについて考えたいと思います。

池島・福万寺遺跡出土品（縄文晩期から弥生前期）



ミニチュア壺



土器棺



縄文晩期から弥生前期の墓地



浅鉢（浮線文土器）



土偶



小型壺



弥生前期の木棺墓



壺（弧帯文土器）



台式土偶



石棒



牙製装身具

主な展示品

河内における縄文時代晩期から弥生時代前期の出土品

池島・福万寺遺跡、讃良郡条里遺跡、弓削ノ庄遺跡、鬼塚遺跡、鬼虎川・水走遺跡、若江北遺跡、長原遺跡など

（土偶、石棒、浮線文土器、突帯文土器、弥生土器など）

池島・福万寺遺跡 縄文時代から近代までの主要出土品

池島・福万寺遺跡、大竹西遺跡など

（各時代の土器類、石庖丁、石鏃、馬具、玉類、祭祀具、銭貨など）

出品総数 約500点